

いちはら最古の
貝塚
と
ムラ

天神台遺跡の発掘調査によって
何がわかったか

2013年 **3月2日[土]**

発表会・特別講演

市原市勤労会館・多目的ホール 9:20～12:10
(youホール)

関連資料展示・解説

市原市埋蔵文化財調査センター 13:30～16:00

いちひら最古の

貝塚とムラ

天神台遺跡の発掘調査によって何がわかったか

いつまでわかった市原の遺跡 第3回発表会

温暖な気候に恵まれた房総半島には、古来より多くの人びとが暮らしてきました。その中央に位置する市原の地にも、豊かな森と川や海がもたらす大自然の恵みを求めて人びとがつづい、先人たちのいとなみの痕跡は遺跡となって、市内各地に残されています。特に「国分寺台」には、上総国分寺跡・西広貝塚・神門古墳群・稲荷台1号墳など、全国にその名が知られる遺跡が数多くあり、政治や文化の中心地としての役割を担ってきました。

今回紹介する「天神台遺跡」は、国分寺台にあった遺跡の中でもひととき規模が大きく、時代や内容も多岐にわたります。このたび縄文時代に関する資料がまとまり、調査報告書が完成したことから、その成果を発表します。

舞台はおおよそ7,000年前の縄文時代早期。気候は今より温暖で、海がずっと内陸地まで入り込んでいた時代です。遺跡からは住居跡や炉穴・集石などが多数見つかり、しっかりとしたムラの形態を示しています。特に、最大長13mを超える大型住居跡が複数発見されたことは、発掘調査当時から注目されました。また、遺跡に残された市内最古の貝塚も、この地で海と関わりをもった人びとの生活の証としてたいへん重要です。この時期の貝塚は千葉県内でも数が少なく、東日本を代表する遺跡として再認識されることでしょう。

遺跡から出土したおびただしい量の土器や石器、1,400点を超える貝ビーズなど、全国的にも珍しい遺物の展示もあわせて行います。発掘から整理作業にいたる長期間の調査成果を、ぜひご覧ください。

内 容

- 発表1 『天神台遺跡の調査成果』 忍澤成視（市原市埋蔵文化財調査センター）
発表2 『市原の縄文早・前期遺跡』 牧野光隆（市原市埋蔵文化財調査センター）

特別講演

- 『縄文時代早期のヒトと動物の関わり』
金子浩昌（東京国立博物館特別研究員）

ご案内

- ◆ 開催日 2013年 3月2日[土]
◆ 発表会・特別講演 市原市勤労会館・多目的ホール
（市原市更級5丁目1-18）
9:20～12:10（受付開始 9:00）
◆ 関連資料展示・解説 市原市埋蔵文化財調査センター
13:30～16:00

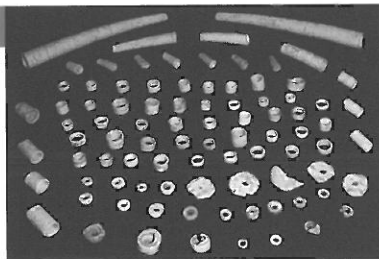
定 員 300名 参加費 無料

※ 当日は勤労会館～埋蔵文化財調査センター間で送迎バスを運行します。
※ 遺物展示は、期間延長して公開します。
3月4日(月)～6月28日(金) 9:00～17:00（土日・祝日を除く）

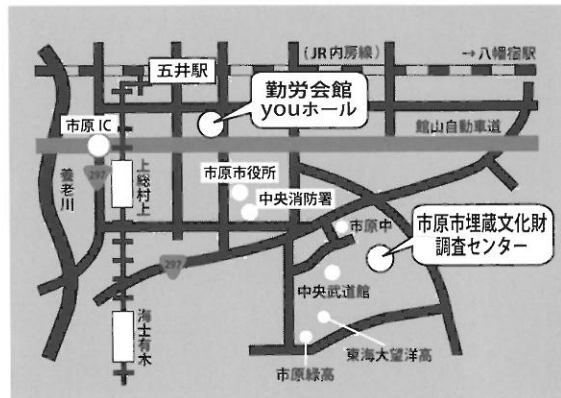


縄文早期の大型住居

貝アクセサリーの数々



大型住居跡と住居内貝塚



市原市埋蔵文化財調査センター

〒290-0011 千葉県市原市能満1489

Phone : 0436-41-9000

URL : <http://www.city.ichihara.chiba.jp/~maibun/index.htm>

交通案内

市原市勤労会館(Youホール)

- <JR内房線> 五井駅東口から徒歩15分
- <小湊バス> 五井駅西口(9～17時)から国分寺台行き 保健センター前停留所より徒歩1分
(東口3番乗り場 8時45分発・西口1番乗り場 9時10分発でお越しください)
- <自動車> 隣接の総合公園駐車場120台・臨時駐車場約100台
- 市原市埋蔵文化財調査センター
- <小湊バス> 五井駅東口から中央武道館行き 埋蔵文化財調査センター停留所より徒歩2分
- <自動車> 隣接の中央武道館第2駐車場約110台